

平成27年度 事業計画

《事業展開方針》

「東京オリンピック・パラリンピックの開催」「地方創生」「首都圏空港の機能強化」など協議会設立以降の大きな状況変化の中、第3旅客ターミナルビルの供用や圏央道の延伸など成田空港やこれを有する千葉県を取り巻く新たな動きを積極的に取り込み、より一層高まる成田空港と千葉県のポテンシャルを最大限に活かした事業展開を図っていく。

※ 成田空港関係の主な動き・見通し ⇒ "新しいナリタ"を発信するまたとない好機

- 発着容量年間30万回化に対応した施設整備完了
- 第3旅客ターミナルビル供用開始
- 圏央道の延伸（神崎-大栄間）
- 入場ゲートのノンストップ化

○ 新しいナリタを強力に発信

- 圏央道延伸の効果を空港利用者の取り込みにつなげるよう、圏央道沿線においてプロモーションを展開
- 会員の取組と連携・連動した国内外就航先でのナリタPR・情報発信
- “ナリタファン”拡大に向け、若者目線のアイデアの事業化を推進

○ 就航先との地域間交流の促進

- 北海道など就航先との「誘客」「送客」一体となった双方向の地域間交流の具体化
- 官民・幅広い業種の会員が有するネットワークを活用した海外向けPRの展開

○ 各会員の事業に役立つ情報・場の提供の充実

- 成田空港と千葉県を取り巻く最新動向や時流を捉え、各会員の事業・ビジネスの幅を広げる情報の共有を図るとともに、成田空港やこれを有する千葉県全体の優位性を活用した産業振興や地域活性化等に関する活動を展開
- 各会員の新たな事業やビジネス創出のきっかけとなる会員同士の交流・協働に向けた場づくり

《事業内容》

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進【継続】

- 平成25年度、26年度と実施してきた北海道との交流をさらに促進し、双方向での交流を具体化する。

[展開イメージ]

- ① 道県共同PR（協議会イベントへの道側招聘／道側イベントへの参加等）
- ② ゴルフ・パークゴルフモニターツアーなどのスポーツを通じた交流
- ③ 旅行商品造成に向けた取組 等

- また、その他の就航先の空港利用促進団体とも連携・協力して、就航先のイベント・広報媒体等を活用したPR・情報発信を行う。
(成田空港の利用促進PRと一体的に展開していく。)

イ 海外向け誘客促進【継続】

成田空港からの訪日外国人の県内誘客を図るため、会員や関連する組織と連携・協力して、情報やノウハウを有する会員のサポートを得ながら、県内でのモニターツアーや現地でのPR・情報発信を展開していく。

(2) 空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR

○ 圏央道延伸を踏まえた北関東エリアにおけるプロモーション【新規】

圏央道延伸による効果が期待される北関東を中心に、空港利用者の取り込みに向けて、会員や関連する組織、あるいは就航先団体と連携・協力して、PR・情報発信を展開していく。

[展開イメージ]

- ① 北関東エリアの商業施設等でのイベント開催
- ② メディア（新聞・雑誌・地域情報誌等）を活用したPR・情報発信

○ 県内・首都圏における利用促進キャンペーン【継続】

成田空港をより積極的に利用してもらえるよう、成田空港の豊富なネットワークやターミナル・アクセス利便性のPR・情報発信キャンペーンを、県内・首都圏エリアを中心に継続的に展開していく。

イ 国内外就航先向けナリタPR【新規】

“新しいナリタ”を国内外で発信するため、会員や関連する組織が行うプロモーションと連携・連動しながら、メディアを積極的に活用したPR・情報発信を行う。（誘客促進PRと一体的に展開していく。）

ウ ナリタファンの拡大に向けた学生アイデアの具現化【新規】

成田空港をより身近な存在として認識してもらい、“ナリタファン”の拡大へつなげるため、平成26年度事業で得られた若者目線のアイデアの事業化に向けて、空港を取り巻く環境変化を踏まえながら学生とともに取り組む。

(3) ビジネス支援事業

ア 経済活性化セミナー【継続】

成田空港や圏央道を活用したビジネスの創出に向け、空港を取り巻く現状や県内経済の最新動向及び今後の見通しなどを会員間で共有するとともに、会員の事業展開に資するセミナーや研究会等を開催する。併せて、ビジネスマッチングに向けた会員同士の交流・協働の場づくりを行う。

[展開イメージ]

- ・ マーケトリサーチ結果のフィードバック
- ・ 成田空港や圏央道等を活用した産業振興

イ マーケトリサーチ【継続】

成田空港や千葉県を取り巻く新たな動きを積極的に取り込み、より一層高まるポテンシャルを最大限に活かした産業振興や地域活性化などに向け、会員の事業やビジネスの新たな展開に資する各種調査や情報収集を実施する。

(4) 要望活動【継続】

成田空港の利便性向上のため、関連する団体と連携しながら、国等関係機関に対する要望を実施する。

(5) 会員提案の検討・実施【継続】

- 会員からの提案（意見・アイデア等）を協議会事業に反映させるため、情報・ノウハウを有する会員と積極的にコミュニケーションを図り、会員の協力・サポートを得ながら事業を展開していく。
- このほか、事業計画の方向に沿った事業提案や幅広い意見・アイデア等について、引き続き募集し事業検討に活用していく。

(6) その他

- 協議会の活動を広報するため、各種媒体の積極的な利用やプレスリリースを展開するとともに、会員向けにメールニュース等による情報発信を行い、会員間において活動状況や成果の共有を図る。
- 会員企業・団体等の広報媒体の活用や、会員が主催するイベント等への協賛・後援等によるPR活動等、会員による広報・プロモーションと連携・連動した取組について、会員のニーズをふまえて検討・実施していく。
- 成田空港の利用促進に向けて、成田空港発着旅行商品の造成促進など、会員企業・団体の積極的な空港利用を促す取組を検討・実施していく。
(会員企業・団体向けの周知方法などを工夫して取り組む。)